

平成9年7月3日

加藤豊島区長、

アメリカの未臨界核実験に対し、
クリントン米大統領へ嚴重抗議。

3日、加藤一敏豊島区長は、アメリカ合衆国がアメリカ東部時間2日午後1時（日本時間3日午前2時）、ネバダ州の核実験場において、国際世論を無視し、核爆発の模擬実験となる初の未臨界核実験を強行したことに對して、アメリカ合衆国大統領に抗議し、抗議文をアメリカ大使館に送付した。

なお、豊島区は、本年5月23日に実験計画中止を強く要望する要望書を送っている。

抗議文は別紙のとおり。

問い合わせ先 総務課長



1997年7月3日

アメリカ合衆国大統領

ウィリアム・J・クリントン 閣下

国際社会で非難の声があがる中、貴国はネバダ州の核実験場で核爆発の模擬実験となる初の未臨界実験を強行しました。

このことは、核実験を全面的に禁止する包括的核実験禁止条約（CTBT）の精神に反するとともに、核兵器の廃絶・恒久平和を願う世界中の人々の願いを踏みにじる行為であり、極めて遺憾であるといわざるを得ません。

豊島区は、本年5月23日に貴国の未臨界実験計画に対し、中止を強く要望しましたが、ここに嚴重に抗議し、今後予定されている未臨界実験計画の全てを撤回するよう要望いたします。

日本国

東京都豊島区長

加藤 一 敏

